



民生委員・児童委員
のシンボルマーク

のばそう愛の手

戸塚区民生委員児童委員協議会



区の花「桜」

H28.9.21 発行

—上矢部地区民生委員児童委員協議会の活動紹介—

お茶の間 食事会

上矢部地区民生委員児童委員協議会では、地区連合町内会、地区社会福祉協議会、上矢部地域ケアプラザと連携し、70歳以上の方を対象に、「お茶の間 食事会」を開催しています。年間9回の開催で、参加者は1回あたり概ね55名前後です。

食材には季節の品を取り入れ、手作りの品を提供しています。お手伝いいただく方には、料理上手なシェフがおりますので、心強く感じるとともに、参加されている方の評判も上々です。最も人気が高いのは、4月が旬のたけのこご飯です。

参加されている方が食事会を楽しんでいる様子を拝見し、大変喜ばしく感じます。

去る5月25日の食事会では、消費生活推進員（以下、推進員）による紙芝居をお願いし、詐欺グループの手口や対応方法について分かりやすく説明していただきました。

紙芝居の木枠は真新しいもので、今回が最初の披露とのことでした。

紙芝居の語り手をつとめる推進員は、途中笑えるネタも織り交ぜながら、分かりやすくお話いただきました。食事会に参加されている方や私たち民生委員・児童委員（以下、民生委員）も、幼い頃のなつかしい思い出が蘇ったように感じました。

詐欺グループによる用意周到な手口は、誰もが信用してしまい、魔の手にはまってしまう可能性があることを実感しました。



家の修繕に伴い、悪徳業者より法外な費用請求を受けるといったケースでした。困惑している被害者が、たまたま通りかかった民生委員に、「このままでは年金がなくなってしまう」ということを相談した結果、クーリングオフができることを伝えられ、大事には至りませんでした。

短い内容のお話でしたが、ニュース等で毎日のように被害の状況が伝えられているとおり、その手口は大変巧妙で、人の精神を完全にコントロールしてしまうことを知りました。

地域訪問時に、詐欺グループの手口として、次のような話を伺いました。

以前から家の状況を伺っていた様子で、息子さんが転勤された直後に、息子さんの名を語って、お金を要求する電話があったそうです。そして、銀行が閉まる時間帯に、タクシーで乗り付けた息子と名乗る人物がドアをノックし、開けるように促してきましたが、息子では無いと判断し、頑としてドアを開けず、ことなきを得たとのことでした。

被害にあわなくて本当に良かったと思います。

あらためて誰もが安心して暮らせる地域づくりが大切であることを学び、自治会町内会、地域、民生委員が連携して、相談相手となることが重要であることを再認識いたしました。

上矢部地区 長崎 紀子

一名瀬地区民生委員児童委員協議会の活動紹介—
研修を兼ねた外出定例会について

私たち名瀬地区民生委員児童委員協議会は現在19名で活動しています。1年を通じ地域との繋がりがとても深く、毎月「赤ちゃん教室」をはじめとする子育て支援・ネットワーク訪問・高齢者食事会を行っています。そのほかに、社会を明るくする運動・社会福祉大会・ゲートボール大会・いきいき健康セミナー・敬老の日祝賀会等、地区社会福祉協議会や地区連合町内会と協力して活動しています。「地域ケア会議」では地域包括支援センターと連携を強めています。

私たちは、毎月第1土曜日に定例会を開いていますが、年2回ほどマイクロバスを利用して研修を兼ねた外出定例会を行っています。これは、見聞を広めたり、学習したりするのは勿論のこと、地域を離れてリフレッシュしたり、移動時間を利用して委員同士でじっくり話し合いができるという利点があります。



震災時__伊能忠敬旧宅



現在__伊能忠敬旧宅

最近では6月4日（土）に、千葉県香取市佐原に行きました。佐原は利根川の水運で栄え、「小江戸」と呼ばれ、日本地図を作った伊能忠敬で有名です。

東日本大震災時、利根川の水害、土地の液状化や建物の倒壊等、大きな被害を受けました。今回市内を歩いても、全く5年前の被害は感じませんでした。当時の写真の展示を見て、被害の大きさに心が痛みました。

佐原には、利根川沿いに「川の駅」があり、建物の2階に、佐原の水害の歴史やメカニズム、東日本大震災時に「川の駅」が果たした役割等、分かり易く展示説明されていますので、小学生の防災教育見学コースにもなっています。やはり『防災教育は子どもの頃から繰り返し行うことが大切』と痛感しました。

また伊能忠敬記念館も見学しました。彼は49歳で隠居してから、それまで独学だった天文暦学を江戸に出て本格的に勉強し、55歳から73歳まで10回に分けて私財を投じて全国測量を行いました。伊能忠敬の地図に、現代の衛星写真の日本地図が映し出されると、位置が多少ずれているものの形はほとんど変わらないという、驚きの完成度でした。私たちは『年齢を言い訳にはいけない』ということをしっかり肝に命じました。



震災時__重要伝統的建造物群保存地区

このように、共に学習し行動したことで更に一段と委員同士の絆が深まり、これからの活動の力になることを実感した初夏の1日でした。

名瀬地区 神田比砂子

主任児童委員をご存知ですか??

主任児童委員とは、厚生労働大臣の委嘱を受けた民生委員・児童委員で、特に児童福祉に関する事項を専門に担当しています。横浜市には約 500 名の主任児童委員がいます。

地区を担当する民生委員・児童委員と連携して、児童に関する課題に取り組みます。地域の中の関係機関と連携し、子どもや子育て家庭を支援する活動を行う推進役として、様々な活動を行っています。



たとえば、こんな活動をしています!!

- 子育てサロンの運営・協力
- 小中学校と連携した児童の見守り
- 赤ちゃん教室への協力
- 児童虐待の早期発見に向けた見守りや啓発
- 地域の子育て世帯や関係機関への子育てに関する情報提供



主任児童委員、民生委員・児童委員には守秘義務があり、個人のプライバシーや秘密は固く守ります。子育てに関する事でご自身が悩まれていたり、周囲に悩まれている方は、地域の主任児童委員、民生委員・児童委員にご相談ください。(お問い合わせは各区役所民生委員担当へ)

着任のご挨拶

戸塚区福祉保健センター担当部長 すずき ゆうこ
鈴木 裕子



本年4月に戸塚区福祉保健センター担当部長に着任しました鈴木裕子と申します。民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様をはじめ、区民の皆様には、日ごろより区の運営にご理解・ご協力をたまわり、誠に有難うございます。

戸塚区の福祉保健センター担当部長は、戸塚区民生委員児童委員協議会の事務局長を兼ねおりますので、今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

昨今、少子高齢化や地域のつながりの希薄化など社会状況の変化が著しく、子育て世帯や高齢者の孤立化、老老介護、生活困窮等々、地域の福祉保健に関する課題はますます増大しています。このような状況の中で、委員の皆様には、日頃から高齢者や障害のある方の見守り、子どもたちへの声掛け、生活上の心配事の相談対応など、地域できめ細やかに様々な活動に取り組んでいただくとともに、行政とのパイプ役としてご尽力いただき、大変感謝申し上げます。

また、昨年度は第3期とつかハートプランの策定にご協力いただいたとのことで、誠にありがとうございました。ハートプランの基本理念である「誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」を目指し、皆様とともに私どももしっかりと取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

戸塚区福祉保健センター福祉保健課運営企画係長 かなざわ たかし
金澤 敬

民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様には、日頃から地域の方々の相談や関係機関との調整、地域活動への支援など、きめ細かな活動を通じて、地域における福祉活動の推進にご尽力いただきまして、ありがとうございます。

また、今年は、3年に一度の一斉改選を迎え、民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様にご協力いただきまして、ありがとうございます。

区民生委員児童委員協議会の事務局として、皆様が地域で活動しやすいよう、取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



戸塚区社会福祉協議会 事務局長 なかまる ひとし
仲丸 等



この4月に戸塚区社会福祉協議会の事務局長に着任しました仲丸等と申します。日頃より、社会福祉協議会活動への協力など戸塚区の地域福祉をともに推進いただきありがとうございます。

昨今、身近な地域でのつながり・支えあいが必要とされる中、地域における共助の取組では、生活エリアの中で個別生活課題（困りごと）を地域の助け合いで解決していくことが求められています。地域で生活に困っている方を地域で支えていくことは地域全体の取り組みですが、民生委員・児童委員の方々への期待はますます大きくなるものと思います。多くの

方々がともに進める「まちづくり」を区社協としてともに進めてまいります。少しでも民生委員活動の支えになれるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

編集後記

民生委員・児童委員を今年の11月末日をもって定年で任期満了となりますが、その間「のぼさう愛の手」広報紙の編集委員を三年間務めさせていただきました。

いま振り返ると現役時代に培った文書の作り方（例えば漢字やかなの使い方、くぎり符号の用い方の位置など）を思い出し、内容ある紙面になるよう一編集委員として微力ながらお手伝いできたのではないかなと思います。

最後に編集委員の皆様にはこれからも素晴らしい「のぼさう愛の手」を発行されますよう心より期待しております。（宮武 祐一）

【編集委員】武田 佳子、門井 富士夫、郷原 真理子、林 一郎、松田 寿子、宮武 祐一

【発行責任者】伊藤 紀子 【事務局】田代 恭一 ☎866-8418